



## 国際連携研究教育局(GI-CoRE) スタンフォード大学ユニット誘致について

### 概要:

北海道大学の強み・特色を活かした国際連携研究・教育の推進と、部局が独自に進める国際連携研究・教育の支援を目的とし、世界トップレベルの教員を国内外及び学内から結集した総長直轄の教員組織として、国際連携研究教育局(GI-CoRE)を設置し、この度スタンフォード大学ユニット誘致が実現しました。

### 【1】国際連携研究教育局について

#### 1) 組織の名称

日 : 国際連携研究教育局

英 : Global Institution for Collaborative Research and Education

通称: GI-CoRE(ジーコア)

#### 2) 機能及び特色

- 1) GI-CoRE 内に置かれているグローバルステーションに、国内外から世界トップレベルの教育研究ユニットを誘致し、学内関連分野の世界トップレベル教員とともに、国際連携研究・教育を推進。
- 2) 研究費等を重点的に配分。
- 3) 所属教員には、新たな人事・給与制度等を適用。
- 4) 教育研究に集中できる環境を構築するため、所属教員の管理運営業務を免除。
- 5) 教育研究成果を、全学的な組織改革に活かす。

### 【2】スタンフォード大学ユニットの誘致

量子医理工学グローバルステーションへの誘致ユニットであり、平成26年度は同大学から5名の招へいが決定しています。

**開始時期:**平成26年4月1日

### お問い合わせ先

北海道大学国際本部国際支援課 国際連携研究教育局担当 小山

TEL: 011-706-8018 FAX :011-706-8037 E-mail: gi-core@oia.hokudai.ac.jp

## 国際連携研究教育局（GI-CoRE）の特色について

### 1. 設置目的

本学の強み・特色を活かした国際連携研究・教育の推進と、部局が独自に進める国際連携研究・教育の支援を目的とし、世界トップレベルの教員を国内外及び学内から結集した総長直轄の教員組織として、国際連携研究教育局を設置した。

### 2. 組織の名称

日：国際連携研究教育局

英：Global Institution for Collaborative Research and Education

通称：GI-CoRE（ジーコア）

### 3. 機能及び特色

- 1) GI-CoRE 内に置かれているグローバルステーションには、国内外から世界トップレベルの教育研究ユニットを誘致し、学内関連分野の世界トップレベル教員とともに、国際連携研究・教育を推進する。
- 2) 研究費等を重点的に配分する。
- 3) 所属教員には、新たな人事・給与制度等を適用する。
- 4) 教育研究に集中できる環境を構築するため、所属教員には、管理運営業務を免除することができる。
- 5) 教育研究成果を、全学的な組織改革に活かす。

### 4. 運営体制

(1) 局長 総長

(2) 副局長 副学長

(3) グローバルステーション

○当面、以下の2つのグローバルステーションを設置する。

1) 量子医理工学グローバルステーション

2) 人獣共通感染症グローバルステーション

○各グローバルステーションにステーション長を置き、関連分野の中核となる教員をもって充てる。

○実際の研究活動は、以下の関連部局において実施する。

・量子医理工学グローバルステーション … 医学研究科  
病院陽子線治療センター

・人獣共通感染症グローバルステーション … 獣医学研究科  
人獣共通感染症リサーチセンター

(4) 運営経費

○平成26年度運営費交付金（特別経費）「国立大学の機能強化」において、人件費・物件費として1億9千6百万円措置された。

### 5. 教員配置

○国内外から招聘した教員は、ダブル・アポイントメント制度を活用し、GI-CoRE に配置する。これらの教員は原則 GI-CoRE に所属するが、実情に応じて関連部局等を兼務することができる。

○学内の部局等に所属する関連分野の中核となる教員を GI-CoRE に配置する。

### 6. 設置時期

平成26年4月1日

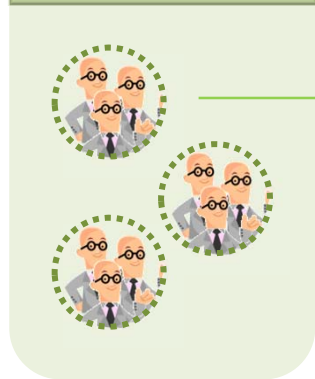
総長  
直轄

■分野  
基礎放射線学  
医学物理学  
がん治療

スタンフォード大学

トップレベル研究拠点からの  
ユニット丸ごと誘致

学内既存組織



**国際連携研究教育局 (GI-CoRE)**  
Global Institution for Collaborative Research and Education

本学の強み・特色を活かし、国内外・学内の世界トップレベル教員を結集し、  
教育研究に集中できる環境を構築するための総長直轄の教員組織

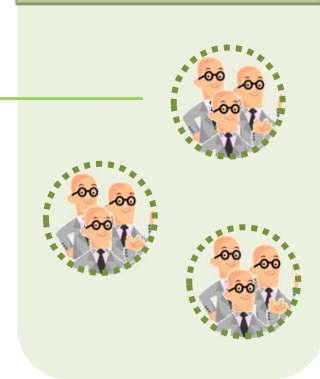
<p><b>量子医理工学 グローバルステーション</b></p> <p>世界で初めて開発した「分子追跡陽子線治療装置」等の実績と、スタンフォード大からのユニット誘致を活かし、がん治療技術のイノベーションを創出し、世界に還元</p>	<p><b>人獣共通感染症 グローバルステーション</b></p> <p>人獣共通感染症リサーチセンターとメルボルン、UCダブリン等のユニットが協働することで、研究成果の社会還元を重視した世界一の人獣共通感染症研究拠点を形成</p>
---	--

■分野  
感染症学  
ワクチン開発  
臨床ウイルス研究

メルボルン大学  
等

トップレベル研究拠点からの  
ユニット丸ごと誘致

学内既存組織



発展

<p><b>【新学院構想】 量子医理工学院 (仮称)</b></p>	<p><b>【新学院構想】 国際感染症学院 (仮称)</b></p>
--	--

北海道大学のグローバル化・組織再編

ガバナンス・制度改革及び体制整備

- ダブル・アポイントメント制 (混合給与) 導入
- 正規職員への年俸制給与の導入
- ほか